

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

勤勉性と忠誠心で試練を乗り越える

1. 「天は試練を与えてその人を試す」という言葉がある。天はその人の魂を磨き、人格をさらに成長させるために試練を与えるのだ、ともいわれる。天は無常無自性である。絶えず変化し、一瞬もとどまらない。そして、その働きは善悪という人間の価値判断をはるかに超越している。それが時として、言葉を絶する試練を人間に与えることにもなる。
2. 天の試練に対して人類は、そこに何かの意味、何かの光を見出し、くみ取ろうとすることで試練を受け止め、乗り越えようとしてきた。この地上に存在するあらゆる国家、組織、個人で、試練を受けずに来たものは一つもないだろう。すべての生命体は必ず何らかの試練を受け、その試練を乗り越えて、いま、ここにあるのだ。
3. 戦後 66 年、私たちの父祖はまさに壊滅状態から立ち上がり、見事によみがえったのだ。わずか 10 年で経済基盤を復興させ、19 年後には東京オリンピックを開催するまでに国力を回復させ、成長の軌道に乗せたのだ。その原動力は何か。一つは日本人の勤勉性である。もう一つは忠誠心である。この二つの美質によって日本は 66 年前の壊滅的試練を乗り越え、今日の繁栄を築いた。この先人の足跡に、私たちは多くを学ばなければならない。
(参考:「致知」2011 年 7 月号)

経営者のための理念・哲学

精神的にも物質的にも豊かな国へ

西水 美恵子 (前世界銀行副総裁)

1. 「アジアの奇跡」とすら言われた日本の戦後復興は悪例です。復興の目的は豊かな国民生活、経済成長はその重要な手段の 1 つだったはず。ところが、経済成長そのものが国政の目標にすり替わり、精神的な豊かさとのバランスを失ってしまった。
2. 日本人はカネとモノだけでは真の豊かさは得られないと気づいています。精神的にも物質的にも豊かな国を求めている。自然と伝統文化とともに生き、人間的な絆がある安心できる社会で暮らしたいと。これこそ東日本大震災の復興の青写真にすべき未来の日本の姿です。

(参考:「日経ビジネス」: 2011 年 4 月 18 日号)

海外事情

賃貸派が増加 (米国)

1. なかなか住宅市場が回復しない米国で注目が集まっているのが「賃貸住宅」の隆盛。住宅バブルがはじける直前まで米国の賃貸派は 31.6%だったが、昨年には 33.6%に増えた。住宅を失った人が賃貸に住み替えた結果もあるが、「住宅への投資はあまりにもリスク」と捉えてあえて賃貸を選ぶ富裕層も増えている。
2. 「賃貸世代」とも言われるトレンドを生み出しているのは、30 歳以下のヤングアダルト層だ。両親の世代は「住宅が最も手堅い投資」と考えるが、若い層にとっては過去 4 年で平均 37%も値下がりした住宅は魅力的な投資対象に見えない。またクレジット引き締めで住宅ローン審査が厳しく、「100 人に 15 人しかローンが通らない」と言われる現状を嫌気している部分もある。
(参考:「WEDGE」2011 年 7 月号)

古典に学ぶ

発言は慎重にしたい

「人にして信なくんば、その可なるを知らざるなり」

(訳)「論語」のなかの有名な言葉ですが、「信のない人間は、一人前の社会人として評価に値しない」というのです。「信」という字のもともとの意味は、嘘をつかない、約束したことは必ず守るということです。では、「信」を守るためにはどうすればよいのかというと、これは発言を慎重にする以外にないのです。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」: 日経ビジネス人文庫)